

Stata を用いた計量分析の実践

日時：2021年8月31日（火） 10:30～17:00

場所：オンライン開催（詳細は別途ご案内）

料金：一般 5,000 円、学生 2,500 円

講師：麦山亮太（学習院大学）

定員：35名

■本コースの内容

統計ソフト Stata を用いて、実際のデータを用いながら、基礎的な計量分析の結果のまとめ方について学習します。たんに Stata で結果を出すだけでなく、結果をどのように解釈するのかという実質的な側面、結果を Excel ファイルや画像ファイルなどに保存するためのより効率的なワークフローに重点をおいて解説します。

■次のような方におすすめです

- クロス集計や回帰分析の基礎的な知識はあるが、Stata でどのようにやるのかわからない
 - 分析の結果をより適切に解釈するにはどうすればよいか知りたい
 - 普段から Stata を使っているが、より効率的に分析結果を保存したり図表を作ったりするにはどうすればよいか知りたい
- *コマンドを使った基礎的なデータの加工方法（generate, replace, recode, drop ifなどの関数）についてはすでに知っているものとして進めます。

■注意事項

- ・大学または公的研究機関所属の研究者・学生（学部生も可）、SSJ データアーカイブへデータを寄託されている民間研究機関の方のみを対象とします。
- ・Stata がインストールされていないパソコンをご利用の方は、募集フォームの「Stata インストール希望」にチェックを入れてください。後日、事務局から期限付きライセンスをご案内いたします。インストール済みの場合は講義開始時間の 10:30 までに指定の URL にアクセスしていただければ結構です。

■本コースの日程

- プロジェクト管理と do ファイル
- 記述統計量の算出と結果の出力
- 2変量関係の記述（平均値等の比較、クロス集計表）と結果の出力
- 図表（散布図など）の出力
- 回帰分析の結果の出力、解釈
- ロジスティック回帰分析の結果の出力、解釈

*進度によって内容が若干変わることがあります。